

タイガースが優勝すると日本が変わる!?

～いざなぎ景気、バブル景気、そして「いぶし銀景気」の幕開けへ?～

阪神タイガース優勝の年は、不思議なことに日本経済が新たな段階に飛躍・発展する「節目」に当たっていました。

1964年は、OECDに加盟し、アジアで初めてのオリンピックを開催し、東海道新幹線も開通するなど、戦後日本の輝かしい成果を示すビッグイベントが相次ぐとともに、翌年からは戦後最長の景気拡大となる「いざなぎ景気」が始まるなど、「先進国ニッポン」が誕生する契機となりました。

1985年は、プラザ合意以降の円高進行に伴い、海外直接投資が拡大し、製品輸入比率が急速に上昇するなど企業活動のグローバル化が一段と進展し、海外旅行者数も大幅に増加するなど、海外との結びつきがより複合的なものとなる「グローバル国家ニッポン」としての一步を踏み出した年でした。

今年、2003年の状況を見ると、4-6月のGDP成長率は年率3.9%となり、株価も1万円台を回復するなど、経済に明るさが見え始めました。シニアが消費の主演となり、派手さはなくとも息の長い「いぶし銀景気」の幕開けを期待したいものです。

1. 阪神が優勝すると景気が上向き、ニッポンも変わる?

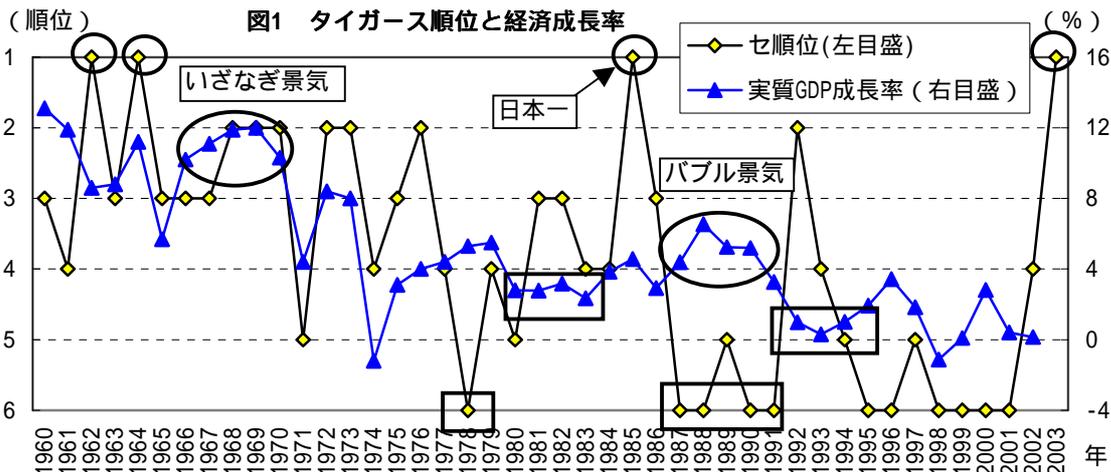
(阪神は日本の先行指標?)

阪神タイガースのセ・リーグ優勝が決まりました。

阪神タイガースの前回優勝は1985年、その前は1964年まで遡りますが、このいずれもが、“いざなぎ景気”“バブル景気”という大型景気到来の約1年前にあたっていました。1960年以降の阪神タイガースの順位と経済成長率を重ね合わせた(図1)を見ても、タイガースの成績が日本経済の浮き沈みの先行指標と言えなくもありません。

しかし、更に注目しておきたいのは、日本という国が、阪神タイガース優勝の年(あるいはその後数年間)に、経済面だけでなく、社会的、対外的にも大きな「節目」を迎え、新たな段階に脱皮し、発展・飛躍するきっかけをつかんでいるということです。

60年代半ばは、日本が自他共に「経済先進国」として認められるようになった時期でしたし、80年代後半は「グローバル国家」への道を進んだ時期でした。



(資料) 内閣府「国民所得統計」

(阪神優勝は米国の覇権低落の予兆？)

また、因果関係の有無はさておき、タイガース優勝後は、いつも米国の覇権に陰りが見え、もたつき始めるのも興味深いところです。

この間のできごとを簡単にまとめたものが(表1)です。(詳しくは文末の年表参照)

表1 日本の節目の主なできごと

節目のキーワード	経済	社会	国際
1960年代半ば 〈先進国ニッポンの誕生〉 *1964年 阪神リーグ制覇	<ul style="list-style-type: none"> ●いざなぎ景気 ●完全雇用達成 ●GNP世界第2位に ●国際収支黒字に ●OECDに加盟 	<ul style="list-style-type: none"> ●国民の「中流」意識UP ●東京オリンピック ●新幹線・東名高速が開通 	<ul style="list-style-type: none"> ●米の北爆開始 →ベトナム戦争泥沼化 ●米ソの宇宙開発競争 →アポロ11号月着陸成功
1980年代後半 〈グローバル国家への道〉 *1985年 阪神日本一	<ul style="list-style-type: none"> ●バブル景気 ●円・株価・地価が高騰 ●生産拠点の海外へのシフト ●製品輸入急増 ●消費税導入 	<ul style="list-style-type: none"> ●民営化進む(NTT, JT, JR) ●男女雇用機会均等法施行 ●ゴッホ「ひまわり」落札 	<ul style="list-style-type: none"> ●プラザ合意→円高へ ●米、双子の赤字 ●NY市場株価大暴落(ブラックマンデー) ●米ソ冷戦終結
2000年代前半 〈国際社会のリーダーへ?〉 *2003年 阪神日本一?	<ul style="list-style-type: none"> ●いぶし銀景気? ●ペイオフ解禁 	<ul style="list-style-type: none"> ●ワールドカップサッカー日韓開催 ●食品会社不祥事相次ぐ ●有事法制関連3法案可決 	<ul style="list-style-type: none"> ●米で同時多発テロ →米がアフガン進攻 ●米英がイラクに進攻 ●SARSが蔓延 ●米で双子の赤字再発

2 . 先進国ニッポンの誕生 = 1960 年代半ば

1964年、タイガースはペナント最終日の対中日戦ダブルヘッダー第1試合で勝利し、劇的な逆転でリーグ優勝を決定。南海との日本シリーズには3勝4敗と惜敗しましたが、バッキー(29勝9敗 防御率1.89)・山内一弘(31本塁打94打点)を投打の柱に、球団創立30周年を飾りました。

（日本経済が世界に踊り出た 1964 年）

一方、日本という国全体も、この年あたりからめざましい飛躍をみせ始めます。

1964年という年は、戦後日本の驚異的な復興と成長を象徴するような、歴史的なイベントが相次いだ年でした。

IMF8 条国に移行（為替制限撤廃）したのに続き、OECD（経済協力開発機構）にも加盟、名実ともに先進国として国際的な認知を得るに至りました。また、アジアで初めてのオリンピック東京大会を大成功裏に終わらせ、6年の年月と3800億円の巨費を投じた東海道新幹線も開通しました。

さらに102カ国を集めたIMF・世界銀行東京総会が開催され、その席で池田首相は、発展途上国でも、国民の努力と国際協力によって先進国に追いつくことが可能であることを、自国の戦後発展の経験を基に演説、参加国からの絶賛を浴びました。

“オリンピック景気”に沸いたこの年の経済成長率は9.5%（1964年度）に達し、失業率は戦後最低の0.8%まで低下しました。

（戦後最長のいざなぎ景気へ）

タイガース優勝の翌年の1965年は、一転して「戦後最大の不況」に見舞われました。オリンピック関連需要の反動減に加え、高度成長の長期化を背景に輸入が急増して国際収支が赤字化、金融政策が徐々に引き締められたためです。

山陽特殊鋼や山一証券が経営破綻し、株価が下落して企業間信用が萎縮するなど、金融面からも景気下押し圧力が高まるなど、まるで90年代後半の日本経済のような様相を呈しました。これに対して日本銀行は山一証券に特別融資を行い、信用不安の沈静に努めました。

しかし、タイガース優勝を機に皮向けた日本経済の復元力は並外れたものでした。

池田内閣の後を継いだ佐藤内閣は、それまでの公債不発行をかなぐり捨て、赤字国債を発行、財政政策は積極的な拡大策へと大きく転換しました。これを機に、日本経済はたちまち息を吹き返しました。翌65年10月に景気は底を打ち、その後5年弱にわたる息の長い拡大に向かいました。いわゆる“いざなぎ景気”です。

1966年～70年の経済成長率は平均10%を超え、GNPは67年には英国を抜いて世界3位に（1位は米国、2位は西独）、翌68年には西独を抜いて2位になりました。

原材料を輸入して工業製品を輸出するという加工貿易立国の形が確立して輸出が伸びた（自動車輸出台数は毎年30%前後増加）のに加え、インフラ整備（新幹線、東名高速道路など）のための公共投資や住宅投資、個人消費といった内

需も大きく拡大しました。輸出・投資・消費といった複数の軸に支えられて成長が持続したところに、この大型景気の特徴がありました。

（経済大国・先進国への飛躍）

こうした経済成長の過程で、日本は先進国へのハードルをひとつひとつ越えていきました。

まず、石橋内閣により 1957 年度から掲げられていた完全雇用が達成され、日本経済の後進性の象徴と言われてきた「経済の二重構造問題（大企業と中小企業の賃金格差問題）」が解消していきました。賃金上昇率は低所得層で高まり（これは反面、賃金コストの上昇を通じて持続的な消費者物価の上昇という副作用ももたらしましたが）、経済成長と所得格差の平準化が両立し、一握りの大企業が富を独占するという途上国的経済構造に陥ることが回避されたのです。

また、景気拡大が長期化すると、国際収支は赤字に転落し、金融引締めを余儀なくされる（国際収支の天井）というのがこれまでのパターンでした。しかし、いざなぎ景気時では、輸出競争力の上昇を背景に、1962 年以降輸出の 2 ケタ増が続いた結果、国際収支は景気拡大の下でも黒字基調を維持するようになり、国際収支の天井を克服するに至りました。

（一変した国民生活）

国民の暮らしも急速に先進国型に向かいました。

「3 種の神器」と言われていた白黒テレビ・冷蔵庫・洗濯機は早くも人々の暮らしに浸透しつつあり、代わって「新 3 種の神器（3C）」（カラーテレビ、カー＝自動車、クーラー）が登場。これらの普及率も急速にアップし、68 年には次の段階として、「新 3C」（セントラルヒーティング、クッカー＝電子レンジ、コテージ＝別荘）があこがれの商品となりました。

経済の二重構造の解消と、テレビや自動車といった耐久消費財の目覚ましい普及により、国民の「中流意識」は急速に高まりました。当時の「国民生活白書」は「国民の 9 割に中流意識を持つようになった」と指摘しました。人々の生活水準は右肩上がり、順風満帆で平和なこの時代は「昭和元禄」と呼ばれました。

一方、対外的にも、国連安保理非常任理事国への当選（1965 年）、IMF 選任理事国から任命理事国への昇格（1969 年）、日銀の BIS 加盟（1970 年）等を果たし、国際社会における地位は一層向上しました。

63 年の『経済白書』のタイトルに「先進国への道」とうたってからわずか数年のうちに、日本は、国内の状況的にも、また国際社会における立場的にも、先進国・経済大国の仲間入りを実現したのです。

(ベトナム戦争・ドル不安にのたうつ米国)

阪神タイガース優勝の1964年は、海外情勢、とりわけ米国における転機の年でもあります。

ヨーロッパ共同体/ECの発足(67年)、東南アジア諸国連合/ASEANの結成(67年)、アラブ石油輸出国機構/OAPECの結成(68年)など、東西冷戦が続く中で地域経済ブロックが次々と誕生しました。

米国では、北爆開始(65年)からベトナム戦争が泥沼化して反戦デモが繰り返され、米国社会は分裂の危機に直面、軍事費は大幅に増加しました。また、対ソ関係上あとには引けぬところもあったのですが、宇宙開発にも巨額の資金が投じられていました。アポロ11号の月面着陸(69年)が人類にとって大きな一歩であることは間違いありませんでしたが、これらが足かせとなって米国経済が疲弊の度を強めていったことも事実でした。

世界にドルを供給し続けた米国は国際収支の赤字に悩み、ドルの信認も動揺、1968年に「ドル防衛白書」を発表しました。

戦後の世界経済を牽引し、空前の栄華を謳歌してきた米国が、阪神タイガース優勝を機に(?)内外にわたって困難と危機に直面し始めたのです。

3. グローバル国家への道 = 1980年代後半

阪神タイガースが次に優勝を果たしたのは1985年、実に21年ぶりのことでした。

三冠王を獲得したバース(打率.350 54本塁打 134打点)を中心に、掛布(打率.300 40本塁打 108打点)・岡田(打率.342 35本塁打 101打点)・真弓(打率.322 34本塁打 84打点)らの猛虎打線が爆発、74勝49敗(勝率6割2厘)と危なげなくリーグを制すと、続く日本シリーズでも西武を4勝2敗で撃破、初の日本一(リーグ分裂後)の座に輝きました。

(輸出主導から内需主導・輸入活用への転換)

この年もまた、日本にとって大きな分岐点となる年でした。

すなわち、日本の強い競争力を背景に、輸出を経済成長の有力なエンジンとした成長パターンは欧米諸国との貿易摩擦激化により限界が見え始め、内需主導の景気拡大を図り、世界にモノを売る(輸出)のではなく、世界からモノを買う(輸入)ことによって、世界に貢献することが求められるようになったのです。

自動車、半導体、鉄鋼等の分野で激化していた欧米との貿易摩擦を和らげるべく、市場開放行動計画(アクションプログラム)を決定したのがこの年の7月。

続いて、9月の先進国首脳会議/G5でドル高修正路線が確認されると(プラザ合意)、円は年末には早くも200円台前半まで急騰、87年1月には150円を突破し、88年末には120円台前半まで上昇しました(図2)。

(企業活動・国民生活ともグローバルに)

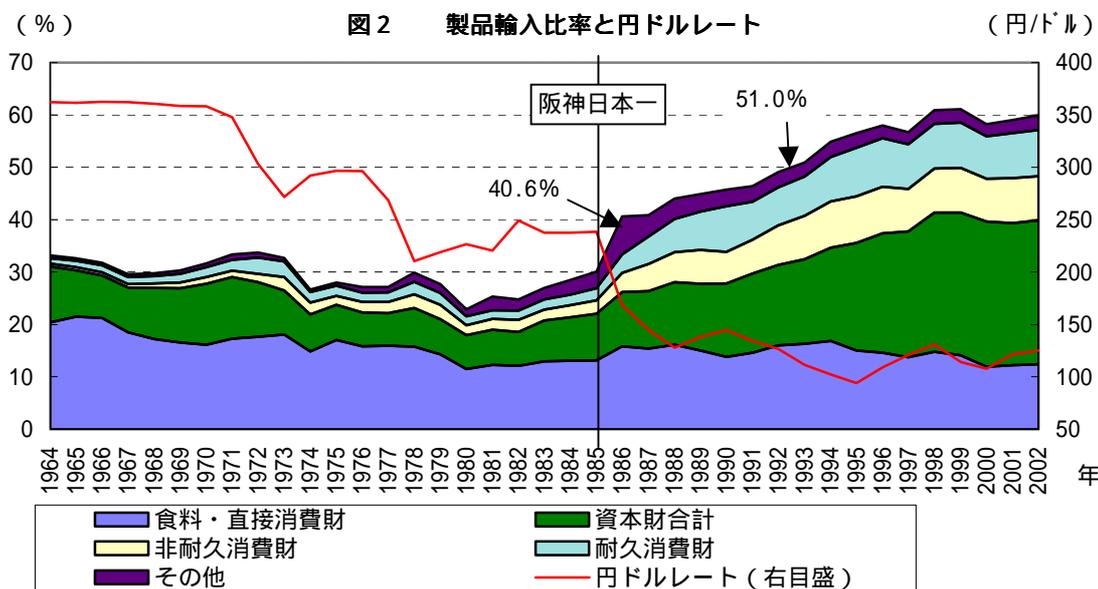
市場開放機運の高まりと、そして何よりも、今だかつてない大幅かつ長期にわたる円高に直面して、日本企業の経営戦略は大きく変わりました。生産拠点の海外へのシフト、内需への転換、部品・半製品の海外からの調達、新規分野への進出など、企業活動は一段とグローバルなものに変身していきました。

これまで、日本と海外との経済的なつながりといえば、各国から輸入した原材料を国内で加工して輸出する--というシンプルな構造(単一の流れ)でしたが、この年を境に製品輸入が急増(製品輸入比率は86年には40%、93年には50%を突破、図2)するとともに、多くの企業が生産拠点を求めて世界中に進出してゆくようになり、海外直接投資は倍々ペースで拡大しました(図3)。

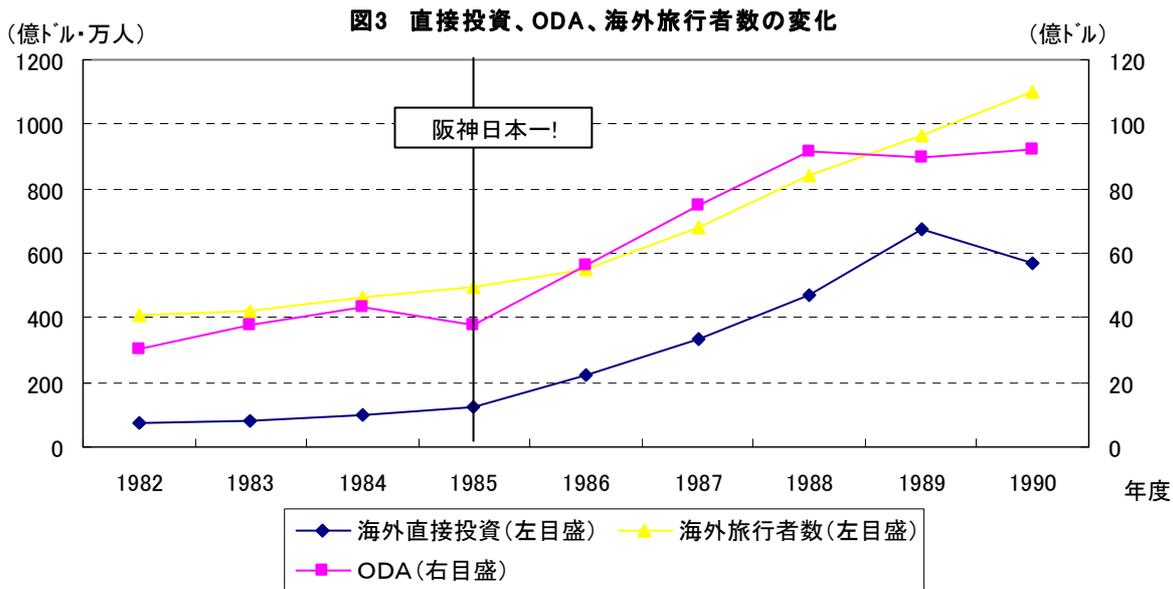
また、円高の影響で海外旅行者数が急増(5年間で2倍以上に膨らみ、90年には1000万人を突破)、ODA供与額も3年で倍増し、89年には米国を抜いて世界一になる(図3)など、より多様な経路でヒト・モノ・カネの行き来が活発化しました。

国内旅行感覚で気軽に海外にでかけられるようになり、安く買えるようになった輸入家具や輸入小物、輸入食品や輸入ワインなどが日常生活にあふれ、一般消費者レベルでもガイコクとの距離が一気に縮まった感があります。

このように、日本が海外と複合的につながるようになり、グローバル国家としての道を歩み始めたのは、まさにタイガースが日本一となった1985年からであり、「国際的調和をめざす日本経済」「進む構造転換と今後の課題」といった『経済白書』のタイトルにも、当時の状況が端的に表れています。

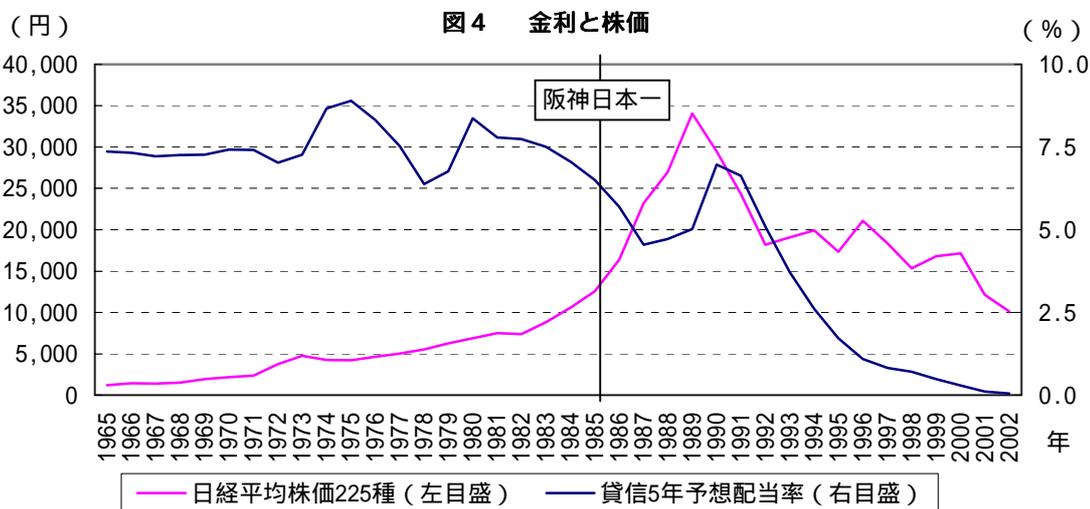


(資料) 財務省「外国貿易概況」



1986年11月、「いざなぎ景気」に匹敵する長さの「バブル景気」に突入すると、株価・地価は天井知らずの上昇を続け、金利は5%以下まで低下しました(図4)。

日本企業が「ジャパンマネー」にもものを言わせて海外の有名絵画やNYのビルを買いあさる姿には少なからぬ批判が浴びせられましたが、ジャパニーズビジネスマンたちが、「24時間戦えますか?」のBGMに乗ってガンガン働き(稼ぎ)、バリバリ遊んだ時代ではありました。



(資料) 日銀「金融経済統計月報」

(米国にとって鬼門?となる阪神優勝)

国際社会では、イラン・イラク戦争の停戦(88年)、米ソの冷戦終結(89年)、ベルリンの壁崩壊(89年)など各所で雪解けムードが漂い、湾岸戦争やユーゴ内戦が勃発する91年まで、束の間の平安が訪れていました。

ただし、米国経済にとっては、阪神タイガース優勝はひとつの鬼門のようで、ちょうどこの頃は、「双子の赤字」が足かせとなっていました。

レーガン政権は、「小さな政府」を目指して大型減税を実施しながら、国防費の増強で支出削減が思うように進まず、ディレギュレーション（規制緩和）効果が出て企業業績が上向き税収増に結びつくまでには今しばらく時間を要したため、大幅な財政赤字に悩むことになりました（ピークは83年の2078億ドル、対GDP比率では6.0%）。

この間、所得税・法人税の減税が消費・投資を過度に刺激、国内貯蓄が不足して実質金利高・ドル高の加速を招き、産業の国際競争力は減退する一方、輸入が急増し、経常赤字も大きく拡大しました（ピークは87年の1680億ドル、対GDP比率では3.6%）。

プラザ合意によってドル安誘導が図られると、今度は国内景気の過熱と輸入物価上昇によるインフレ懸念が浮上、急速なドル安防止やインフレ抑制の観点からは金利引き上げに迫られる一方、国内経済活性化を考えれば利上げは難しいという政策面のディレンマに直面することになります。

そうした中で、西独（当時）の金利引上げ観測が台頭し、米国からの資本の流出と一層のドル安懸念が強まったことから、堰が切れたようにNY株価が暴落したのがブラックマンデー（87年）でした。

今では想像しがたいことですが、米国は「双子の赤字をほったらかし、競争力の回復もままならないG7の劣等生」的な見方をされたものでした。

4.“成熟したリーダー国”に仲間入り？ = 2000年代前半

（有事も平時も国際貢献）

1964年が「先進国」としてのデビュー年、1985年が「グローバル国家」への転換年とすれば、阪神タイガースが18年ぶりの優勝を果たした今年、2003年は日本にとってどんな節目の年となるのでしょうか（あるいはするべきなのでしょうか）。

ひとつの見方としては、そろそろ、単なるグローバル国家のうちのひとつではなく、国際社会のリーダーとしてステップを踏み出す時期に来ているのではないかということです。

有事関連3法が成立し、国連安保理の常任理事国入りを取り沙汰されるなど、世界の平和や安全に対し貢献し責任を負う立場になる準備が進んでいます。もちろん、有事の場合のみならず、唯一の被爆国として核開発・核実験禁止に説得力のある提言をする、環境問題でイニシアチブをとる、阪神・淡路大震災以来根付いたボランティア意識と経験を積極的に世界で活かす（ボランティア休暇の推進）、戦後の荒廃から経済大国へ駆け上がった経験を基に、イ

ンフラ整備、技術移転、政策助言等を通じて途上国を支援する - など方法はいろいろあると思います。

また、世界で最も速いスピードで高齢化が進み、平均寿命では世界トップクラスとなった日本は、望ましい高齢化社会のモデルを世界に示すチャンスかもしれません。

（“いぶし銀景気”は到来するか）

経済面では、8月に発表された2003年4-6月期GDP成長率が前期比年率3.9%、株価も約1年ぶりに1万円台を回復するなど、やや明るさが出てきました。

日本経済を取り巻く条件を考えると、かつての“いざなぎ景気”や“バブル景気”のような華々しい経済成長は望めないかもしれません。

今後は、団塊の世代がシニアの仲間入りをするにつれ、健康面の不安が少なく、消費意欲も知的な好奇心も旺盛なシニア層がますます存在感を増していくこととなります。ここでは、日本経済がシニアパワーを柔軟に取り込んだ新しい姿を見せてくるであろう期待もこめて、シニアが消費の主演となり、派手さはなくとも息の長い景気拡大が続く“いぶし銀景気”の到来を予測したいと思います。

（2度あることは3度ある?…米国の覇権に陰り）

米国はまたしても双子の赤字に苦しみ、90年代後半以降の独り勝ち的な覇権にも陰りが見え始めています。

エンロン/ワールドコム事件に代表される一連の不祥事によって、企業会計さらにはこれまでの米国的な資本主義のあり方に疑問の声が高まっています。ブッシュ政権は大型減税の実施に踏み切りましたが、テロ対策、イラクやリベリアへの派兵などで国防費が膨張しており、2002年度財政収支は97年度以来の赤字転落となりました。

経常（貿易）収支も、90年代後半からの強い国内需要を背景に輸入が膨らんでおり、赤字が急拡大しています。このままいくとレーガン時代の二の舞という声も聞かれます。

阪神タイガース優勝と米国経済---つくづく相性が悪いものです。

（青木：aokimi@sumitomotrust.co.jp）

TEL：03-3286-8243 FAX：03-3286-4638

●本ニュースを執筆するに当たり、下記文献を参照しました。

香西泰(1981)『高度成長の時代』(日本評論社)
原田泰(1992)『テラスで読む戦後トピック経済史』(日本経済新聞社)
金森久雄編著(1990)『戦後経済の軌跡』(中央経済社)
後藤晃・小峰隆夫・古川彰(1989)『新・日本経済論』(東洋経済新報社)
小峰隆夫(2003)『最新日本経済入門』(日本評論社)
小浜裕久・渡辺真知子(1996)『戦後日本経済の50年』(日本評論社)
経済企画庁『経済白書(各年度)』
朝日新聞社『朝日年鑑(各年)』
講談社『昭和-二万日の全記録(各巻)』
阪神タイガース関連ホームページ

<http://www.hanshintigers.jp/index.html>

<http://www.jttk.zaq.ne.jp/genmatsu/nendo/nendai.htm>

阪神タイガースと日本の歩み

	経済白書の副題	日本のできごと(経済・社会)	日本のできごと(流行・世相)	海外のできごと	タイガースのできごと
1960	日本経済の成長力と競争力	1月 日米新安全保障条約 調印 9月 カラーテレビ本放送 開始 10月 石川島重工業と播磨造船所が合併、石川島播磨重工業が誕生 10月 富士銀行+三越が日本初のクレジットカードをスタート 12月 池田内閣、国民所得倍増計画を閣議決定 三種の神器 = テレビ、冷蔵庫、洗濯機	ダッコちゃん流行 昼メロ 全学連 ヌーベル・ヴァーグ リバイバル インスタント食品が登場(森永製菓のインスタントコーヒー) 「家付きカー付きババア抜き」 「ナンセンス」	5月 欧州自由貿易連合(EFTA) 発足 9月 石油輸出国機構(OPEC)が発足 アフリカで17か国が独立 世界人口30億人に到達	藤本勝己 打点王&本塁打王の2冠 3位
1961	成長経済の課題	4月 国民皆保険制度 6月 農業基本法公布 9月 日赤が愛の献血運動を開始 輸入自由化で重工業関係の300品目を自由化へ	レジャーブーム 六本木族 女子学生亡国論 半袖ワイシャツ シームレス・ストッキング 不快指数 プライバシー 「巨人・大鵬・玉子焼き」「地球は青かった」	1月 米キューバ断交 4月 ガガーリン人類初の宇宙飛行 8月 東ドイツ、ベルリンの壁を構築 9月 O E C D (経済協力開発機構) 発足	株式会社阪神タイガースに社名変更 4位
1962	景気循環の変貌	5月 睡眠薬サリドマイド、出荷停止 8月 堀江謙一太平洋ヨット横断 9月 富士ゼロックスが国産初のコピー機完成 テレビ受信契約1000万件突破(普及率48.5%)	文明堂CM「カステラ1番、電話は2番」 ツイスト流行 パーピー人形輸入 無責任時代 C調 青田買い	10月 キューバ危機	藤本定義が監督に就任 15年ぶりのセントラル・リーグ優勝 日本シリーズで東映に惜敗
1963	先進国への道	3月 吉展ちゃん誘拐事件 7月 中小企業基本法 公布施行 11月 伊藤博文の千円札登場 11月 セルフハトヤなど4社合併でニチイ(マイカル)発足	ISB- / 印度加-CM「インド人もビックリ」 三ちゃん農業 バカンス クチコミ 「ガチョーン」 「ハッスル」(阪神タイガースがアメリカキャンプから持ち帰った言葉。張り切ること) TV「鉄腕アトム」(~64年)	6月 ワシントン~モスクワ間にホットライン(直通電話)設置 11月 ケネディ大統領がダラスで暗殺される	小山正明投手と大毎/山内外野手がトレード 3位
1964	開放体制下の日本経済	4月 海外旅行自由化 4月 カラーテレビ等8品目の輸入自由化 4月 IMF 八条国に移行 為替自由化 4月 O E C D に加盟 10月 東海道新幹線開通 10月 東京オリンピック開催 粗鋼生産量米ソに次ぎ世界3位となる 完全失業率0.8%で戦後最低 「国民生活白書」、国民の消費生活が向上し「先進国型」に接近と分析	アイビー族/みゆき族 VAN/JUN モッズ(モダンズ) ウルトラC ON砲 「太った豚よりやせたソクラテスタレ」 「シェー」 「俺についてこい」 TV「ひょっこりひょうたん島」(~64年)	7月 米で公民権法が成立 10月 ソ連フルシチョフ首相が失脚	ペナント最終日、対中日ダブルヘッダー 第一試合で勝利、逆転優勝で創立30周年目を飾る 南海との日本シリーズは、3勝4敗で 惜しくも日本一ならず
1965	安定成長の課題	3月 外貨準備高20億5000万円で過去最高に 5月 山一証券が事実上の倒産、再建へ日銀が無制限・無期限の特別融資実施 7月 証券不信つり、ダウ平均株価安値更新 10月 カラーテレビの対米本格輸出開始 12月 日韓国交回復 同年国勢調査で農林漁業者が総就業者の25%を割る 四輪車輸出台数は前年比29.1%増加	レトルト食品登場 共稼ぎによる「カギっ子」増加 長髪 ゴーゴー スーパーボール 公害 夢の島 TV「オバケのQ太郎」(~68年)	2月 米国が北ベトナム爆撃開始 ベトナム戦争激化 8月 シンガポールがマレーシアより分離独立 9月 印バ戦争勃発 11月 国連総会、満場一致で人種差別撤廃を決議 12月 日本が国連安保理事会非常任理事国に当選	村山実 最多勝利投手&沢村賞 3位

阪神タイガースと日本の歩み

	経済白書の副題	日本のできごと(経済・社会)	日本のできごと(流行・世相)	海外のできごと	タイガースのできごと
1966	持続的成長への道	1月 戦後初の赤字国債、2590億円を発行 2月 東京証券取引所が公社債市場を4年ぶりに再開 3月 人口1億人突破 8月 日産自動車とプリンス自動車が合併 9月 21万トンの石油タンカー出光丸が進水、タンカー大型化進む 10月 日野自動車、トヨタグループに参加 四輪車輸出台数は前年比31.7%増加 新三種の神器 = <3C>カラーテレビ、クーラー、自動車 「国民生活白書」で、国民の約半数に「中流」意識	森永乳業/クリープCM「クリープを入れないコーヒーなんて」 ミニスカート流行 マイカー元年 「黒い霧」 「びっくりしたなあ、もう」	5月 中国で文化大革命始まる 7月 仏がNATO脱退	杉下茂 監督に就任 休養で藤本定義が監督に復帰 村山実 沢村賞 3位
1967	能率と福祉の向上	1月 三洋電機が初の普及型カラーテレビを発売 5月 第1次資本自由化 = 外資比率を33業種で50%、17業種で100%に 8月 公害対策基本法公布・施行 GNPが1140億ドルで米・西独に次ぎ世界3位に 輸出が105億7000万ドルと初めて100億ドルを超える テレビ受信契約2000万件突破(普及率83.1%) 自動車保有台数1000万台突破 国民生活白書で、国民の9割に「中流」意識	グループサウンズ フーテン族 ヒッピー族 アングラ族 シンナー遊び 蒸発 サユリスト 核家族 タカラ「リカちゃん人形」発売	5月 関税一括引き下げ交渉(ケネディラウンド)、主要国間で合意 6月 第3次中東戦争勃発 7月 ヨーロッパ共同体/EC発足 8月 東南アジア諸国連合/ASEAN結成 9月 IMF、特別引出権(SDR)の創設を決定	山内一弘 2000本安打達成 権藤正利 最優秀防御率投手 3位
1968	国際化のなかの日本経済	3月 東大全学闘争委員会、安田講堂を占拠 5月 消費者保護基本法公布・施行 6月 小笠原諸島が23年ぶりに日本に復帰 8月 日米自動車交渉妥結、部品輸入自由化等を約束 7月 ケネディ・ラウンドによる工業品の第1次関税引き下げ実施 新3C = セントラルヒーティング、電子レンジ(クッカー)、別荘(コテージ) GNPが1436億ドルで米に次ぎ世界2位に	昭和元祿 五月病 失神 ハレンチ ノンポリ サイケデリック ズッコける タカラ「人生ゲーム」 「とめてくれるな、おっかさん」 TV「3時のあなた」(~88年)	1月 アラブ石油輸出国機構/OAPEC 結成 4月 ブラハの春 7月 核拡散防止条約に米英ソなど62ヶ国が調印 10月 米が北爆全面停止を表明	江夏豊 米大リーグ/S.コーファックスの年間奪三振記録383を抜く 江夏 沢村賞&最多勝利&最優秀投手 2位
1969	豊かさへの挑戦	5月 東名高速道路全通 5月 新全国総合開発計画が閣議決定 3月 第2次資本自由化 = 外資比率50%は135業種、100%は30業種に 11月 IMFの選任理事国から任命理事国に昇格	森永チョコボール「おもちゃのかんづめ」キャンペーンスタート ミディ マキシ パンタロン スパイ手帳 ママレンジ 「オー、モーレッツ!」「やったぜ、ベイビー」 「オヨビでない」	7月 アポロ11号、月面着陸に成功	村山実 通算2000奪三振を達成 吉田義男350盗塁を記録 田淵幸一 最優秀新人 江夏豊 最優秀防御率投手 2位
1970	日本経済の新しい次元	1月 日銀が国際決済銀行/BISに再加盟 2月 ぶどう酒等9品目の輸入自由化実施 3月 日本万国博覧会開会(~9月) 3月 富士・八幡両製鉄所合併により新日本製鉄誕生	SLブーム ママさんバレー バイオリズム ウーマンリブ 四無主義 スポ根 不幸の手紙 三島由紀夫割腹自殺	4月 NY市場で株価大暴落 7月 アスワンハイダムが完成 11月 アジア開発銀行、初の円貨債発行契約に調印 12月 OPECが原油の全面・均一値上げを発表	村山実 通算200勝を記録 村山 最優秀防御率&最優秀勝率投手 2位

阪神タイガースと日本の歩み

	経済白書の副題	日本のできごと(経済・社会)	日本のできごと(流行・世相)	海外のできごと	タイガースのできごと
1970		3月 日航機よど号ハイジャック事件 6月 日米安全保障条約、自動延長 8月 銀座などに歩行者天国登場 9月 米国で日本製テレビダンピング容疑 9月 ソニー、日本企業で初めてNY証券所に株式を上場 9月 第3次資本自由化 = 外資比率80%以上に323業種 年央から景気減速			
1971	内外均衡達成への道	1月 鹿島臨海工業地帯の石油化学コンビナート完成 3月 多摩ニュータウンへの第一次入居開始 4月 関税一括引下交渉/ケネディラウンドによる税率改正を9ヶ月繰り上げて実施 7月 日本マクドナルドが銀座に1号店開店 8月 米のドル防衛策で東証ダウ暴落、外為市場にドル売り殺到/ドル・ショック 9月 日清食品、「カップヌードル」を発売 8月 第4次資本自由化 = 7業種を除きすべて自由化に 10月 第一・日本勧業両銀行合併により第一勧業銀行誕生	ボウリングブーム 脱サラ シラケ 知る権利 ネズミ講 日本株式会社 ジーンズにTシャツ大流行 コンピュータ犯罪 アンノン族 スマイルバッジ アメリカン・クラッカー 女子プロボウラー 「ヘンシ〜ン」「ピース、ピース」 TV「仮面ライダー」(~73年)	8月 ニクソン米大統領、ドル防衛策として金・ドル交換の一時停止等を発表/ニクソン・ショック 10月 国連総会、中国の国連復帰を決定 12月 印パ戦争勃発	オールスターで江夏が9打者連続奪三振の新記録 江夏豊 最多奪三振投手 5位
1972	新しい福祉社会の建設	1月 財形貯蓄制度開始 1月 日米繊維協定調印 2月 連合赤軍が軽井沢の浅間山荘に籠城 2月 札幌冬季オリンピック開催 5月 沖縄返還、沖縄県が発足	パンダブーム 未婚の母 オセロゲーム ワーカホリック マンション・ブーム 日本列島改造論 総括 恍惚の人 TV「太陽にほえろ！」放送開始(~86年)	6月 米でウォーターゲート事件発覚 9月 日中国交正常化に関する共同声明発表 11月 ニューヨーク・ダウ平均株価1,000ドル突破	金田正泰が監督に就任 江夏豊 最多奪三振投手 2位
1973	インフレなき福祉をめざして	1月 老人福祉法施行、70歳以上の医療費が無料に 2月 円の変動相場制移行 5月 第5次資本自由化 = 原則として100%自由化に 9月 国鉄中央線にシルバーシート設置 9月 厚生年金保険法・国民年金保険法改正、年金額が物価スライド制に 11月 物不足不安でトイレトペーパーや洗剤の買い貯め騒ぎ	ツチノコブーム ゴルフ大衆化 「ちょっとだけよ」「たばこする？」 「狭い日本、そんなに急いでどこへ行く」(交通安全標語)	1月 ベトナム和平協定調印 1月 英国が欧州共同体(EC)に加盟 10月 OPEC、イスラエル支援国家向けの石油生産削減を決定 第1次オイルショック 10月 第4次中東戦争勃発	江夏、中日戦で11イニングを完封し、ノーヒットノーラン達成。11回裏自ら決勝本塁打 江夏豊 最多勝利投手 2位
1974	成長経済を超えて	2月 通産・農林など4省が物価対策本部を設置 3月 小野田元陸軍少尉がフィリピン・ルバング島で発見され、28年ぶりの帰還 3月 大規模小売店舗法施行 4月 史上最大のゼネスト、国鉄は全面運休 5月 日本初のコンビニ「セブンイレブン」が開店 8月 三菱重工ビル爆破事件 10月 米・国鉄運賃等の公共料金大幅値上げ実施 年度実質GNP成長率は0.6%と、戦後初のマイナス成長	超能力ブーム(ユリ・ゲラー来日) ゼロ成長 金脈 ニューファミリー 暴走族 便乗値上げ ストリーキング マルチ商法 こっくりさん 「青天の霹靂」 「と、日記には書いておこう」	8月 ニクソン米大統領がウォーターゲート事件の責任をとって辞任	江夏豊 2000奪三振を達成 吉田義男 監督就任 藤本定義 藤村富美男 野球殿堂入り 4位

阪神タイガースと日本の歩み

	経済白書の副題	日本のできごと(経済・社会)	日本のできごと(流行・世相)	海外のできごと	タイガースのできごと
1975	新しい安定軌道をめざして	2月 公取委が初のマルチ商法摘発 11月 3公社 5 現業がスト権スト、国鉄は史上最長の192時間全線運休 カラーテレビの普及率が90%を超える	紅茶きのこブーム ニュートラ 受験戦争 激写 スケパン コミック・マーケット 「およげたいやくん」 「オヨヨ」「バカウケ」「ちかれたびー」	4月 サイゴン陥落、ベトナム戦争が終結 11月 パリで第1回サミット(主要先進国首脳会議)開催 世界人口40億人に到達	田淵幸一 本塁打王 安仁屋宗八 最優秀防御率投手 3位
1976	新たな発展への基礎がため	1月 大和(ヤマト)運輸が宅急便業務開始 6月 海外渡航者の円・外貨持ち出し制限緩和(外為銀行の承認で3000ドルまで可) 7月 ロッキード事件で田中角栄前首相逮捕 9月 ソ連のミグ25戦闘機が函館に強行着陸 10月 日本ビクターがVHS方式のVTRを発売 12月 ジャンボ宝くじ発売、1等1000万円	ジョギング・ブーム 偏差値 安楽死 ピンクレディーがデビュー アグネス・ラム スケートボード サーフィン 「山口さんちのツトム君」 「記憶にございません」	4月 カンボジアでポルポト政権成立 6月 ベトナム社会主義共和国成立	江夏放出 ブリーデン・ラインバック・東田が加入し、打線に破壊力 チーム年間本塁打数193はプロ野球タイ記録 2位
1977	安定成長への対応を進める日本経済	1月 青酸カリ入りコーラ事件 7月 領海法・漁業水域暫定措置法が施行、200カイリ漁業専管水域設定 8月 有珠山噴火 9月 王貞治が通産756号のホームラン世界記録達成 10月 伊藤忠商事が安宅産業を吸収合併	スーパーカーブーム 子供の自殺多発 落ちこぼれ 独身貴族 新人五月病 女子プロレスブーム 愉快犯 学生ローン ナンチャッテおじさん ぶらさがり健康器 「翔んでる」	3月 米ソが200カイリ漁業専管水域を設定 8月 中国、文化大革命終結を宣言	チーム23試合連続本塁打のプロ野球新記録樹立 4位
1978	構造転換を進めつつある日本経済	5月 新東京国際空港開港 7月 円高騰、初の1ドル100円台へ 8月 日中平和友好条約調印 8月 東芝が日本語ワープロを開発 9月 日本テレビが世界初の音声多重放送開始	国鉄「いい日旅立ち」キャンペーン カラオケ流行 不確実性の時代 ディスコブーム インベーダーゲーム 窓際族 家庭内暴力 サラ金地獄 ファミリー・レストラン 口裂け女 キャンディーズが解散 「普通の女の子に戻りたい」 「フィーバー(する)」「アー、ウー」	7月 イギリスで世界初の試験管ベイビー誕生 11月 米政府が緊急ドル防衛策を発表	掛布雅之がオールスター戦で初の3打席連続本塁打 田淵幸一 300号本塁打 藤田平 208打席無三振のプロ野球新記録 最下位 オフ、田淵放出
1979	すぐれた適応力と新たな出発	1月 国公立大学入試で共通一次試験スタート 2月 東芝が初の日本語ワープロを発売 2月 都銀各々が現金自動支払機のオンライン提携に合意 7月 ソニーが「ウォークマン」1号機を発売 7月 東名高速日本坂トンネル内で火災事故発生 12月 自動車電話サービスがスタート	国鉄「フルムーン」キャンペーン 漫オブーム オジン/オバン 天中殺 熟年 夏のオフィスに省エネルック登場 ギャル 激 地方の時代 「エコノミックアニマル」「ウサギ小屋に住む働き蜂」(海外からの日本人評) 「ダサイ」	1月 米中国交30年ぶりに正常化 2月 イラン革命 4月 GATT多角的貿易交渉(東京ラウンド)妥結 6月 OPECの原油値上げが続く 第2次石油ショック 9月 世銀、同行に対する日本の融資額は全体の33.5%を占め世界一と発表 12月 ソ連軍、アフガニスタン侵攻開始	江川卓と契約 即日巨人/小林繁とトレード 掛布雅之 本塁打王 小林繁 最優秀投手・最多勝利投手・沢村賞 4位
1980	先進国日本の試練と課題	2月 ダイエーが小売業として初の年商1兆円企業に 3月 早大商学部入試漏洩事件 3月 都市銀行6行の提携によりATM登場 4月 大塚製薬「ポカリスエット」発売 スポーツドリンクブーム 8月 新宿駅西口バス放火事件 11月 予備校生が金属バットで両親撲殺 自動車生産台数、米を抜き世界一に	ルービックキューブ ハマトラ流行 女の時代 竹の子族 ビニ本 たのきんトリオ 校内暴力・家庭内暴力急増 ポケ老人 山口百恵引退、松田聖子デビュー 「カラスの勝手でしょ」「みんなで...すれば」 「それなりに」	5月 WHOが天然痘根絶宣言 9月 イラン・イラク戦争勃発 9月 ポーランドで「連帯」(ワレサ委員長)発足	岡田が加入 新人王獲得 ブレイザー監督を解任、中西コーチが監督代行 5位

阪神タイガースと日本の歩み

	経済白書の副題	日本のできごと(経済・社会)	日本のできごと(流行・世相)	海外のできごと	タイガースのできごと
1981	日本経済の創造的活力を求めて	3月 中国残留日本人孤児が初来日 5月 対米乗用車輸出自主規制で合意 9月 三和銀行オンライン詐欺事件 10月 北炭夕張新鉱ガス惨事 宅配便取扱高約1億個で、郵便小包を超える	なめ猫ブーム ノーパン喫茶 ロリコン ぶりっこ 粗大ゴミ クリスタル ジャズダンス レオタード ダウンジャケット TV「オレたちひょうきん族」	10月 エジプト・サダト大統領が暗殺される 12月 ポーランドで戒厳令、ワレサ連帯議長軟禁	掛布雅之が10打席連続安打のプロ野球タイ記録を樹立 藤田平 首位打者 3位 江本が反発して退団、中西監督を解任
1982	経済効率性を活かす道	2月 ホテル・ニュージャパンで火災 2月 日航機が羽田沖に墜落 4月 500硬貨登場 8月 CDプレイヤー発売 12月 カード式公衆電話が設置される 12月 日本マクドナルドが売上で飲食業界の売上トップに(約703億円) 粗鋼生産10年ぶりに1億トン割れ	国鉄フルムーン・パス ゲートボール エアロピクス DCブランド ビタミン・ブーム 裏本 ネクラ 心身症 逆噴射 風見鶏 「ルンルン」「イマイ」 「ほとんどビョーキ」	4月 フォークランド紛争勃発	掛布雅之、4試合連続本塁打を記録 掛布雅之 本塁打王・打点王・最多出塁 山本和行 最優秀救援投手 3位
1983	持続的成長への足固め	1月 政府、貿易摩擦緩和のため輸入手続簡素化などを決定 2月 老人保健法 施行 2月 EC向けビデオテープレコーダーの自主輸出規制 4月 東京ディズニーランドがオープン 6月 戸塚ヨットスクール校長、しごき教育による傷害致死容疑で逮捕 7月 任天堂「ファミコン」を発売 国債の発行残高が100兆円突破 中曽根首相「日本は戦後史の大きな転換点にある」と発言～経済大国としての国際的役割強調	軽・薄・短・小(売れる商品の特徴) カフェバー 便利屋 ポスト・モダン 義理チョコ 不沈空母 キッチン・ドリンカー ヤンキー族 「いいとも!」「おまえはすでに死んでいる」 TV「おしん」「金曜日の妻たちへ」	9月 ソ連、大韓航空機を撃墜 世界で初めてHIVウイルスが発見	藤田平が通算2000本安打達成(15人目) 真弓明信 首位打者 福岡納 最優秀防御率投手 4位
1984	新たな国際化に対応する日本経済	1月 東証ダウ平均株価、1万円の大台に乗る 3月 江崎グリコ社長誘拐される グリコ・森永事件 4月 牛肉・オレンジ輸入割り当て数量に関する日米農産物交渉が決着 11月 日銀が千円、5千円、1万円の新券を発行 65歳以上人口が総人口の1割を突破、 日本人女性の平均寿命は80歳を越す	NHK衛星放送 キャベツ畑人形 働く主婦数が専業主婦数を越える ピーターパン・シンドローム くない族 焼酎ブーム イッキ飲み流行 ヤッピー クアハウス ウーパールーパー エリマキトカゲ 「ちゃっぷい、ちゃっぷい」「マジ?」「教官!」 TV「オールナイトフジ」 女子大生ブーム	10月 インドのガンジー首相が暗殺される	掛布雅之が250本塁打を達成 掛布雅之 本塁打王 山本和行 最優秀救援投手 4位
1985	新しい成長とその課題	4月 NTT、日本たばこ産業が発足 5月 国民年金法改正公布 7月 政府、貿易摩擦解消策として市場開放行動計画(アクションプログラム)を決定 8月 日航ジャンボ機が御巣鷹山に墜落 日本の対外純資産額が世界一に 自動車メーカーの海外進出盛ん	金妻 不倫 車内暴力 ヤラセ いじめ 激辛ブーム AI(人工知能) ヘッド・ハンティング いちご大福 TV「タヤケニャンニャン」 おニャン子クラブが人気に	9月 G5、ドル高修正のための為替市場協調介入で合意(プラザ合意) 円急騰年末には120円台へ 10月 ソ連ゴルバチョフ書記長が「ベレストロイカ」を発表 米国、双子の赤字に苦しむ(財政赤字のピークは83年、経常赤字のピークは87年)	パース 3冠王 中西清起 最多セーブ投手・最優秀救援投手 猛虎打線爆発し21年ぶり3度目のセ・リーグ優勝 日本シリーズで西武を4勝2敗で破り、リーグ分裂後初の日本一に
1986	国際的調和をめざす日本経済	2月 短期国債が始めて発行される 3月 個人貯蓄総額が初めて500兆円を超える	グルメブーム 温泉ブーム 財テク 新人類 メンズDCブランド とらば~ゆ エステティック 家庭内離婚	1月 米スペースシャトル・チャレンジャーが空中爆発 2月 フィリピン新大統領にコラソン・アキノ、マルコス前大統領は米国に亡命、	パース 2年連続の3冠王 3位

阪神タイガースと日本の歩み

	経済白書の副題	日本のできごと(経済・社会)	日本のできごと(流行・世相)	海外のできごと	タイガースのできごと
1986		4月 男女雇用機会均等法施行 4月 国際協調経済移行を柱とする「前川レポート」が発表される 7月 富士フィルム使い捨てカメラ「写るんです」 7月 日米半導体交渉、日本市場への米製品の参入拡大などで最終合意 11月 伊豆大島の三原山が209年ぶりに噴火 12月 87年度予算案で防衛費がGNP1%枠を突破 12 鉄鋼3社、不況のため初の従業員一時休業を実施 企業の金融資産比率が増大 = 財テクブーム	カラオケボックス登場 お嬢様ブーム 「いえてる」 「ぶつつん」 「亭主元気で留守がいい」 「究極の××」 TV「ニュースステーション」	4月 チェルノブイリ原発事故発生 9月 関税貿易一般協定(GATT)閣僚会議が 多角的貿易交渉(ウルグアイ・ラウンド)の開始宣言 イギリスで金融ビッグバン実施	
1987	進む構造転換と今後の課題	1月 東京外為市場で円急騰、初の150円/ドル突破 1月 老人保健法改正施行、自己負担額増加等が骨子 2月 NTT株上場、150万円の初値がつく 3月 安田火災海上がゴッホ「ひまわり」を約53億円で落札 4月 国鉄が分割・民営化、JR7社が発足 4月 NTTが携帯電話サービス開始 5月 政府、内需拡大のための緊急経済対策を決定 7月 経企庁・日銀が円高不況終焉を宣言 10月 東芝機械のココム違反事件 輸入自動車販売台数10万台を突破、前年度比41.1%増 対外純資産総額初の1兆ドル突破、3年連続の世界一	ボディコン ワンレン プールパー 統一教会の靈感商法 DINKS 朝シャン 通勤快足 地上げ屋 ウォーターフロント・ブーム 「懲りない××」	10月 ブラックマンデー/ NY株価大暴落 11月 大韓航空機爆弾テロ事件 世界人口50億人に到達	吉田義男監督の現役時代の背番号23が永久欠番に最下位 吉田監督退任し、村山実監督就任
1988	内需型成長の持続と国際社会への貢献	4月 地価公示発表、東京圏住宅地の上昇率は68.6%と過去最高 4月 マル優制度、原則廃止 6月 日米牛肉・オレンジ輸入自由化交渉が妥結、3年後の輸入制限撤廃等を決定 6月 リクルート関連未公開株譲渡問題が発覚 12月 東証ダウ平均株価が初の3万円台に	JR東海CM「シンデレラ・エクスプレス」 コードレス電話 電子手帳 フリーター カウチポテト 濡れ落ち葉 おぼたりあん 101(中国の育毛剤) ラップ 「キープする」 「キレてる」 「うるうる」	8月 米で包括貿易法が成立、スーパー301条など保護主義強化の内容 8月 イラン・イラク戦争の停戦協定が発効	和田豊がシーズン犠打数56でプロ野球新記録樹立 バースがシーズン途中で帰国 ミスタータイガース掛布雅之が現役引退 最下位
1989	平成経済の門出と日本経済の新しい潮流	1月 昭和天皇崩御、新元号「平成」に決定 1月 都銀各、新短期プライムレートを導入 2月 相互銀行52行が普通銀行に転換 3月 東京外為市場で円が130円台まで下落、以後円安ドル高傾向に 4月 消費税導入(3%) 5月 外貨準備高が世界で初めて1000億ドル突破 6月 小口市場金利連動型預貯金/MMC発売 12月 東証ダウ平均株価、史上最高の38,915.87円を記録 ODA供与額89億5800万ドル、米国を抜き世界最大の援助国に	三共ノリゲインCM「24時間戦えますか」 オヤジギャル はちみつレモン テトリス 渋カジ ランバダ セクハラ マドンナ旋風 お局さま マスオさん現象 「デューダする」 「メチャ××」 「はまる(った)」	2月 米ソ首脳会談で冷戦終結を宣言 6月 中国北京で天安門事件 10月 NY株式市場市場2番目の下げ幅を記録 11月 東独で海外旅行・移住が自由化、「ベルリンの壁」崩壊	5位
1990	持続的拡大への道	1月 共通一次試験に代わり大学入試センター試験導入	イタめしブーム ティラミス チーズ蒸しパン	7月 イラクがクウェート侵攻開始	中村勝広が新監督に就任

阪神タイガースと日本の歩み

	経済白書の副題	日本のできごと(経済・社会)	日本のできごと(流行・世相)	海外のできごと	タイガースのできごと
1990		4月 三菱地所がNYロックフェラービルを購入 4月 三井・太陽神戸両行合併により太陽神戸三井銀行(92年4月～さくら銀行)誕生 7月 金融制度調査会、銀行・証券の相互参入基本方針を決定 10月 東証ダウ平均株価、3年7ヶ月ぶりに2万円の大台割れ 11月 任天堂が「スーパーファミコン」を発売 粗鋼生産量、10年ぶりに1億1000万トンの大台回復	3K 三高 アッシー、メッシー、ミツグ君 紺ブレ おたく 成田離婚 TV「恋のパラダイス」「バツイチ」という言葉を生む	10月 東西両ドイツが統一	最下位
1991	長期拡大の条件と国際社会における役割	4月 牛肉・オレンジ輸入自由化 6月 日米半導体交渉決着、日本製PC等にかけていた制裁関税が解除 6月 雲仙・普賢岳噴火、大規模火砕流が発生 11月 初の個人向け自由金利商品(スーパー定期等)発売 12月 米玩具チェーン「トイザラス」上陸 年央から景気減速 証券会社による得意顧客への損失補てん、銀行による不正融資など、金融界の不祥事続出。	チャパツ チーマー ヘアヌード写真集 ジュリアナ東京 占いブーム 「...じゃあーりませんか」「超××」	1月 湾岸戦争勃発 4月 自衛隊、初の海外派遣。機雷除去のためベルシャ湾へ 6月 クロアチア・スロベニアが独立宣言し、ユーゴ内戦に突入(～95年) 12月 国連、「世界経済調査報告」で世界経済の実質成長率は0.3%と発表。マイナスは戦後初。 12月 ソ連崩壊、11共和国の独立国家共同体に	阪神甲子園球場ラッキーゾーンの撤去開始 最下位
1992	調整をこえて新たな展開をめざす日本経済	1月 地価税創設を柱とする新土地税制スタート 3月 公示地価発表、住宅地・商業地とも17年ぶりの下落 5月 国家公務員の週休2日制スタート 6月 東京外為市場で円高騰、初の120円突破 6月 国連平和維持活動(PKO)協力法案成立 対外貿易黒字が1000億ドルの大台に	スーパーモデル モツ鍋 プータロー きんさんぎんさん ディスコからクラブへ ほめ殺し 牛歩戦術 「うまいんだなー、これが」「モード」 TV「ずっとあなたが好きだった」「冬彦さん」がマガコンの代名詞に	1月 ロシアが価格自由化を実施、市場経済へ移行	湯舟敏郎が対広島戦でノーヒットノーランゲーム 広くなった甲子園で防御率大幅に向上 久慈照嘉 新人王 3位
1993	バブルの教訓と新たな発展への課題	5月 サッカープロリーグ「リーグ開幕」 6月 定期性預金金利が自由化される 冷夏のため米不作 タイ米緊急輸入 日本の一人当たり名目GDP(\$33,764)がスイスを抜き世界一に	コギャル アウトレット お立ち台 スノボー 形状記憶シャツ 屋台村 ポケベル ローラーブレード ブルセラ 「聞いてないよ～」 TV「いえなき子」「同情するなら金をくれ」	9月 アラファトPLO議長、ラビンイスラエル首相、パレスチナ暫定自治協定調印 11月 マーストリヒト条約発効、EU統合	和田豊 リーグ最多安打 村山実が野球殿堂入り 4位 藪恵市 新人王
1994	厳しい調整を越えて新たなフロンティアへ	6月 円相場、1ドル100円突破 9月 関西国際空港開港 10月 流動性預金金利も自由化され、金利完全自由化 12月 ソニーが「プレイステーション」を発売	価格破壊 100円ショップ Gショック パンナコッタ ヨーグルトきのこ 風水 バラバラ 援助交際 シャネラー ヤンママ	4月 ボスニア紛争 5月 南アでネルソン・マンデラ氏が大統領に就任 5月 英仏海峡トンネル(ユーロトンネル)が開通	5位
1995	日本経済のダイナミズムの復活をめざして	1月 阪神淡路大震災 3月 地下鉄サリン事件 4月 円相場、1ドル80円突破、79円75銭の史上最高値を記録(瞬間ベース) 7月 製造物責任法(PL法)が施行 7月 簡易型携帯電話(PHS)のサービスが主要都市で開催	ディオール「スヴェルト」 コマダム がんばろう神戸 ボランティア 官官接待 「ボアする」	1月 世界貿易機関/WTO発足 1月 ロシアでチェチェン紛争発生	シーズン途中で中村監督退任、藤田二軍監督が昇格 最下位

阪神タイガースと日本の歩み

	経済白書の副題	日本のできごと(経済・社会)	日本のできごと(流行・世相)	海外のできごと	タイガースのできごと
1996	改革が展望を切り開く	1月 スーパー各社、元日営業を本格化 4月 石油製品の輸入自由化 4月 三菱・東京両行が合併、東京三菱銀行誕生 7月 O157食中毒流行 8月 スターバックス・コーヒー日本1号店銀座に開店 住專の不良債権処理問題	ジミ婚 ルーズソックス アバガード アムラー ブリクラ ストーカー 「チョコベリバ」 「ゲットする」 「初めて自分をほめたい」 「メイクドラマ」	12月 ベルー日本大使公邸人質事件	2リーグ分裂後3000勝を達成 藤田監督途中休養で柴田ヘッドが監督代行 最下位
1997	改革へ本格起動する日本経済	4月 消費税率引き上げ(3% 5%) 6月 神戸児童連続殺傷事件(酒鬼薔薇事件)で14歳少年逮捕 9月 健康保険法改正、会社員の医療費負担額2割に倍増 11月 金融界破綻相次ぐ(山一証券、三洋証券、北海道拓殖銀行)	たまごっちブーム チャイドル ベルギー・ワッフル ガーデニング キティちゃん人気復活 ジベタリアン 複雑系 バリアフリー 小顔 「成人病」 「生活習慣病」へ呼称変更 「いけてる」	7月 イギリスが香港を中国に返還 7月 イギリスでクローン羊「ドリー」発表 7月 タイ・パーツ切り下げ アジア通貨危機へ 8月 NY市場で株価急落、ブラックマンデーに次ぐ下げ幅	吉田義男監督就任 5位
1998	創造的発展への基礎固め	2月 長野冬季オリンピック開催 4月 日本版ビッグバン始動(外国為替法改正、株式売買手数料一部自由化等) 7月 和歌山毒物カレー事件 10月 東証ダウ平均株価、12年8ヶ月振りに1万2千円台に下落	ユニクロのフリースブーム ビジュアル系バンドブーム モーニング娘。 厚底サンダル 不適切な関係 「キレル」「だっちゅーの!」 「冷めたビザ」(ニューヨークタイムズ紙での小淵首相評)	8月 北朝鮮がミサイル(テポドン)発射、日本上空を飛行 8月 ケニアとタンザニアの米国大使館で同時爆弾テロ	和田豊が1500本安打達成 最下位
1999	経済再生への挑戦	2月 日銀、ゼロ金利政策を開始(~00年8月) 2月 NTTドコモがモード・サービス開始 4月 コメ輸入許可制廃止、351.17円/kgの関税つきで自由化へ 7月 NTT分割、再編 10月 株式売買手数料完全自由化 ネット取引本格化 11月 文京区の幼稚園で「お受験殺人」	癒し たればんだ カリスマ ミニロト パレオ パシュミナ 宇多田ヒカル リベンジ 「だんご3兄弟」	1月 EU、統一通貨ユーロを導入 3月 NY市場株価終値1万ドルを突破 3月 コソボ紛争でNATO軍によるユーゴ空爆開始 12月 ボルトガル領マカオが中国に返還 世界人口60億人に到達	野村克也監督就任 中西太が野球殿堂入り 最下位
2000	新しい世の中が始まる	2月 国内航空運賃自由化 3月 携帯電話(PHS含む)加入者数が5593万人となり、固定電話(ISDN除く)の5566万人を上回る 4 介護保険制度スタート 4月 民事再生法施行(7月破綻のそごうに適用) 5月 17歳の少年が西鉄高速バスを乗っ取る 7月 雪印乳業食中毒事件 7月 2千円札発行	ミュール パラパラ 叶姉妹 ファクトリーアウトレットショップ林立 ピッキング 大型経営破綻続出 「おっはー」「ジコチュー」	8月 ロシアの原子力潜水艦クルスクがバレンツ海海底で航行不能に 12月 米大統領選、歴史的混戦の末、ブッシュ大統領が当選	最下位
2001	改革なくして成長なし	1月 中央省庁が1府21省庁から1府12省庁に再編 3月 スポーツ振興くじ「toto」発売 3月 ユニバーサルスタジオ・ジャパン開園 4月 大手銀行経営統合(三和・東海・東洋信託銀行 U F J)、東京三菱・三菱信託・日本信託銀行 東京三菱、さくら・住友 三井住友) 4月 家電リサイクル法施行	エコノミークラス症候群 狂牛病 デバ地下 ベイブレード ローライズパンツ 聖域なき構造改革 「ファイナルアンサー?」	3月 アフガニスタンのタリバン政権が世界的文化遺産 パーミヤンの仏像を破壊 9月 米国で同時多発テロ 10月 米国がアフガン進攻	赤星憲弘 最優秀新人賞・盗塁王(W受賞はプロ野球史上初) 最下位

阪神タイガースと日本の歩み

	経済白書の副題	日本のできごと(経済・社会)	日本のできごと(流行・世相)	海外のできごと	タイガースのできごと
2001		9月 東京ディズニーシー開園 11月 完全失業率、史上最悪の5.5%まで上昇 エルメス、シャネル等有名ブランド旗艦店が相次ぎオープン			
2002	改革なくして成長なし	1月 雪印食品が輸入牛肉を国産牛に偽装 4月 第一勧業・富士・日本興業の3銀行が、みずほ銀行・みずほコーポレート銀行に再編 4月 公立校週5日制実施、公立小学校に総合的な学習の時間の新設、英語教育の導入 4月 ペイオフ解禁 5月 ワールドカップサッカー日韓共催 8月 住宅基本台帳ネットワーク・システム運用開始 8月 日本マクドナルドがハンバーガーを史上最底の59円に再値下げ 10月 北朝鮮拉致被害者5名が帰国 10月 産業再生機構の創設と金融再生プログラム発表	貸し剥がし ムネオハウス 内部告発 ワン切り タマちゃん 写メール 低インシュリンダイエット 拉致 丸ビル、36階建てとなり新装オープン ディスコ復活	1月 E U 12カ国にユーロ貨幣登場 5月 東ティモールがインドネシアから分離・独立 米国で大企業の不正会計発覚、破綻相次ぐ(エンロン01/12月、ワールドコム02/7月など) 米国で双子の赤字再発	星野仙一監督就任 赤星憲弘 盗塁王 井川慶 最多奪三振投手 4位
2003		3月 あさひ銀行と大和銀行が分割・合併により「りそな銀行」と「埼玉りそな銀行」に再編 4月 健康保険法改正、サラリーマンの医療費負担が3割に増額 4月 有事法制関連三法案を可決 4月 郵政事業庁が郵政公社に移行 4月 東証ダウ平均株価、バブル崩壊後最安値の7607円88銭を記録 5月 りそなグループへの公的資金注入決定 8月 東証ダウ平均株価、1年ぶりに1万円台に回復	「なんでだろ～」 「GETS!」	3月 米英が国連決議を無視しイラクを攻撃(～5月) 5月 中国・北京を中心に新型肺炎「重症急性呼吸器症候群」(SARS)が蔓延	球団が公式ファンクラブ設立 赤星憲弘 3年連続盗塁王? 今岡誠 首位打者? 18年ぶりの日本一?